

丸の内だより

8月號の「土木工学」の談話欄に久保田敬一博士の「關門隧道の人柱、故齋藤眞平技師の追憶」と言ふ一文が發表されてゐる。

鐵道次官引退後の久保田博士は、鐵道協會發行の會誌上に時々意見を發表されてゐたが、それは交通行政に關するものが多かつた。それ等の文章には左程の感興もなかつたが「關門隧道の人柱」は多大の感激を以て讀んだ。

博士が土木技術界の新鋭な元老であると云ふ事も注意を引く一因であるが、名文を以て敘述されてゐる内容そのものは、實に我國工事技術界の新しい感激でなければならぬ。

此の文章の内容は、6月25日關門海底隧道の工事で負傷し遂に逝去した鐵道技師齋藤眞平氏の事を追憶されたのであるが、久保田博士は齋藤氏の死を「隧道の至寶」を奪はれたと嘆じてゐられる。而して齋藤氏の生前の技術的努力と功績を、米國のホーランド隧道技師長ホーランド氏の人格と功業に比し、「關門隧道のため眞に心血をそまぎて働き遂にその愛着する隧道内に瘞れて關門隧道の人柱となつた彼れ齋藤眞平技師は、實に我國のホーランドとして永久に關門隧道と共に其名を傳へらるべきである」と記されてゐる。

齋藤氏は埼玉縣の人、大正元年に岩倉鐵道學校を卒業して鐵道院に入り、房總線建設事務所にて島山線の測量に従事し、少壯技術員中の測量の名手として認められ、大正9年任官して鐵道技師となり、10

年には上越南線の棚下隧道の掘鑿を擔當した。12年には我國最長の清水隧道の工事を擔當して土合日現場主任となつた。此間齋藤技師は數百の従業員を指揮して、早朝より夜に至るまで挺身職に當り、隧道掘鑿に關する幾多貴重な記録を作つた。同年關東大震災後の帝都復興の工事に際し、釘宮技師に従つて隅田川橋梁工事の基礎潜函工事を擔當するに至つた。此間に米國より指導に來た技師を驚かす程の熱心さと研究的態度を以て其人格技倆を賞讃されたものである。

大正15年4月丹那隧道工事に於て、水抜坑にシールド工法を採用する事となり、唯一の経験者として再び鐵道省に迎へられ、以來全力を擧げて難工事に當り、昭和9年丹那隧道完成當時は熱海日主任であつた。

昭和11年、釘宮所長の下に下關改良事務所に於て、關門海底隧道の工事が開始される事になり、齋藤氏は工事掛長として、13年釘宮所長に従ひ米國に出張し、シールド工事の調査に従事して歸朝し、その完全無缺の工法を以て11月より、シールド組立に着手し、殆んど寢食を忘れて指揮監督に没頭してゐた。然るに本年6月25日シャフトの鐵梯子を登る途中、墜落危禍に遭つたのである。

久保田博士は最後に「彼の如き人格、經驗、識見兼ね備はれる不世出の人物を關門隧道の守護神と化せしめたのは惜みても餘りある事乍ら、彼が魂を打込んだ仕事に瘞れた事は軍人の戦死にも等しい立派な事であると結ばれてゐる(編輯部)。

土木 建築 工事書報	第十五卷 第九號	定價金七拾錢 (稅二錢)	每月一回一日發行 一ヶ年十二冊發行
普通購讀料	昭和十四年八月廿六日印刷納本 昭和十四年九月一日發行		關西支局
壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月四圓 稅共 六ヶ月八圓 同 一ヶ年一十六圓 外國一部 八十六錢 稅共	編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豐島區長崎仲町二丁目三六二九		大阪市住吉區帝塚山東 四ノ二八 工事書報社支局 電話住吉3590(呼)
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事但し、六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地		大賣捌所
	發行所 工事書報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話 丸ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番		東京堂・東海堂 大東館・北隆館

地下工事に優秀な

全固約縮
安全堅節短
工造費期
施構互互

潜函工法

基礎基礎坑
基礎基礎
建築諸梁山岸乾地下底
建場橋鑛地
互

設計
請負
監督

シールド工法



白石基礎工事株式會社

白石基礎工業合資會社


電話
丸ノ内(23)
4371
4372
44375

電話
土佐堀(44)
3334
33348

本社 東京
麹町區丸ノ内ビル四二六區

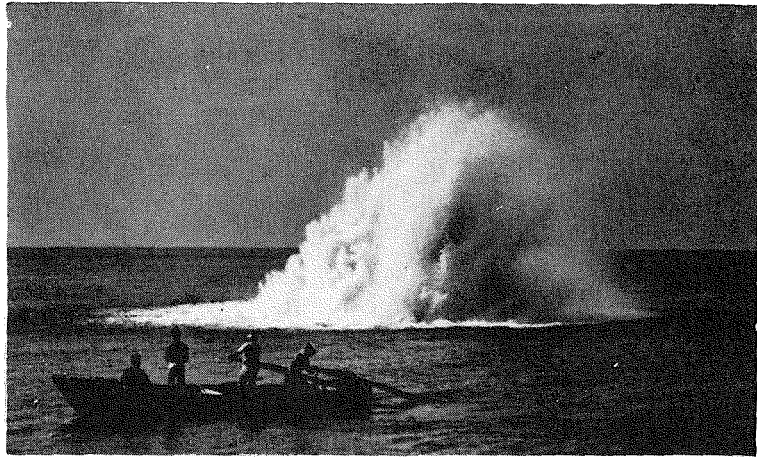
支店 大阪
北區宗是町大阪ビル八六三號

國 產 品 創 製

一 般 用  坑 内 用

昭和カーリット

製 品 種 目	稻 妻 印 一 號	ア カ リ 用
	稻 妻 印 二 號	石 割 用
	甲 キ リ ン 印	採 鑛 用 (有 毒 一 酸 化 炭 素 瓦 斯 無 シ)
	乙 キ リ ン 印	採 鑛 用 (有 毒 一 酸 化 炭 素 瓦 斯 無 シ)
	甲 虎 印	坑 内 用、隧 道 用 (無 臭 無 害)



(カ タ ロ グ 贈 呈)

- 特 徴
- 1. 純 國 産 過 鹽 素 酸 鹽 爆 藥
 - 2. 安 價 ニ シ テ 威 力 強 烈
 - 3. 取 扱 法 簡 易 衝 撃 ニ 鈍 感 ニ シ テ 安 全
 - 4. 成 分 ノ 夏 季 滲 出、冬 季 凍 結 皆 無
 - 5. 坑 内 用 ハ 無 臭 無 害
 - 6. 原 料 全 部 同 系 會 社 ノ 製 造 ニ テ 自 給 自 足

昭和火薬株式会社

社 長 森 轟 昶

本 社 東 京 市 京 橋 區 寶 町 一 ノ 七 味 ノ 素 ビ ル (電 話 京 橋 (56) 2386 ・ 5167
1612 ・ 1894)
(休 日 用) 5874)

京 城 營 業 所 京 城 府 南 大 門 通 二 ノ 一 日 本 生 命 ビ ル (電 話 本 局 ② 3748)

興 津 作 業 所 千 葉 縣 夷 隅 郡 興 津 町 守 谷 (電 話 千 葉 縣 興 津 16)

超 高 級

浅野ベロセメント

短 期 高 強 度
工 事 期 間 短 縮
工 事 費 節 約



(浅野セメント香港工場)



低 發 熱

浅野マスコンセメント

大塊コンクリート用

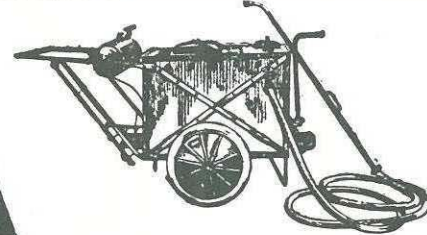
説明書御申込次第送呈

浅野セメント株式会社

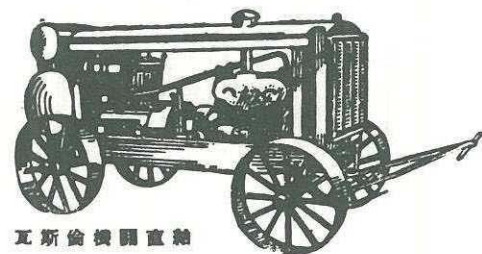
東京丸ノ内・海上ビル新館

大正十四年七月二十八日第三種郵便物認可
 昭和十四年八月二十六日印刷
 昭和十四年九月一日發行(毎月一回日發行)
 土木 建築 工事 畫報 第十五卷 第九號

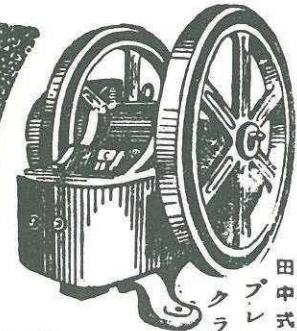
田中 の土鑛 機械



田中式
 瀝青乳劑
 アスファルト・タール
 撒布機

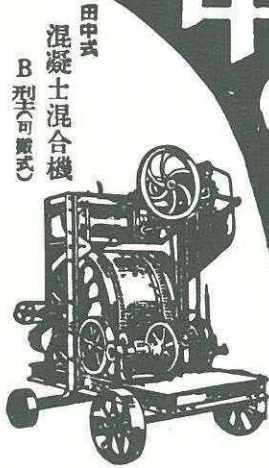


瓦斯倫機開直軸
 可搬式空氣壓縮機

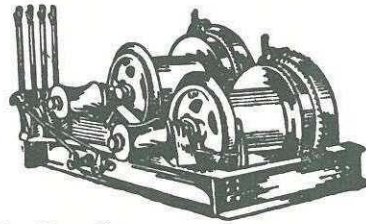


田中式
 瓦斯倫機開
 道路輓壓機

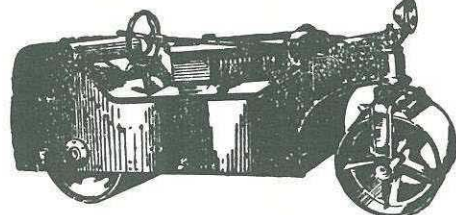
田中式
 プレーキ
 クラッシャー



田中式
 混凝土混合機
 B型(可搬式)



田中式
 復胴捲揚機



鑛山土木諸機械一般・道路鋪裝諸機械

田中土鑛機製作所

東京市京橋區京橋三丁目五番地(京橋際)

電話京橋(五五〇九番)
 横濱口區東京三三六八七番

定價金七十錢
 満・鮮・臺定價七十七錢
 (送料二錢)